

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

大野市尚徳中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の設置と運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

| | |
|--------------|----|
| 各地区の代表者 | 3名 |
| 保護者代表 | 2名 |
| 校区内小学校の保護者代表 | 1名 |
| 有識者 | 2名 |
| 学校職員 | 3名 |

| | |
|---------------------|----|
| 地域コーディネーター (校区公民館長) | 2名 |
|---------------------|----|

(2) 協議会の内容

①開催日程

第1回 (6月18日)

第2回 (12月 5日)

第3回 (3月 中旬) ※中止

②協議内容

- ・地域との連携について
- ・学校経営のあり方について
- ・学校関係者評価について

(3) 協議会における成果と課題

交通安全、インターネット、自然災害などに対する学校の対応について協議し、地域からはどのような協力が可能かを確認することができた。一方で、過小評価する国民性を考慮し、生徒にアンケートを取る際には、どのような言葉かけをしながら回答を進めさせるとよいかを考えるよう助言を受けた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

未来を見据え、主体的に地域に貢献できる生徒を育成する。

(2) 活動の実際

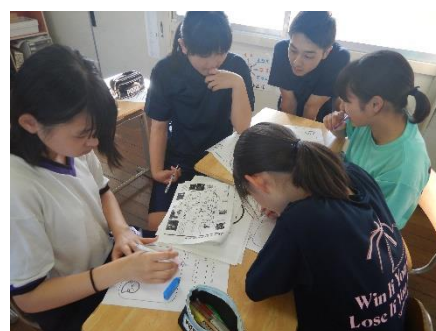
①修学旅行地東京での地域PRと特産品販売

校区や大野市の特産物を東京に持って行き、修学旅行での活動のひとつとして、銀座農園マルシェ (オープンマーケット会場) でPRと販売を行った。持っていった特産品をすべて完売することができた。



②夏祭りへの参画 (富田地区・阪谷地区)

企画の段階から大人に混じって会議に参加し、夏祭りでのイベントや担当ブースについてアイデアを提案する。また、当日は運営も行い、夏祭りを盛り上げた。特に、富田地区で行った「おぼけ屋敷」では、地区の青年会による丁寧で熱心な協力により、盛況を得ることができた。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

夏祭りの企画運営に生徒を携わらせ、適切なアドバイスを与え、安全で楽しい催しが実行できるよう支援した。

(4) 特に工夫した事項

夏祭りだけでなく地区の体育大会にも生徒が参画できるよう、地域コーディネーターと協議した。

(5) 成果と課題

修学旅行でも夏祭りでも、生徒が生き生きと楽しんで活動する様子が見られ、自己肯定感を高めることができたと思う。一方で、継続的に活動していくためには、経費をどのように捻出していくかを考える必要がある。